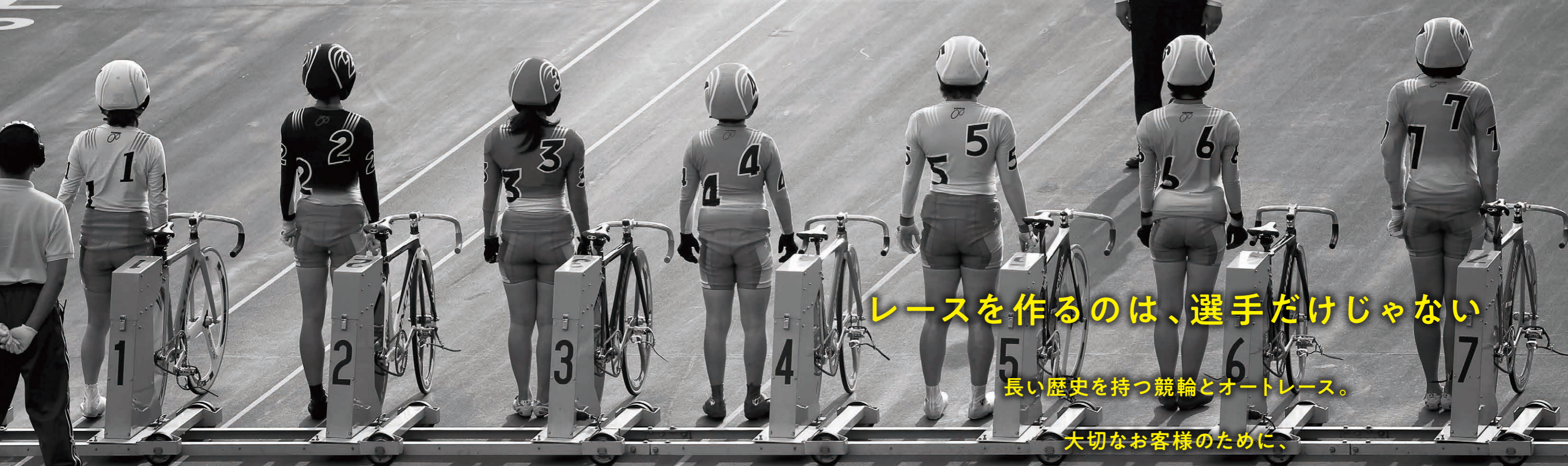




会社案内



レースを作るのは、選手だけじゃない

長い歴史を持つ競輪とオートレース。

大切なお客様のために、

常に挑戦と変革を続けてきました。

競輪とオートレースを盛り上げる、

日本でたった一つの法人として、私たち JKA は

今日も走り続けています。





公益財団法人 JKA について

3

競輪とオートレースは、それぞれ自転車競技法と小型自動車競走法の規定により、地方自治体が開催する公営競技です。その収益は、競技を開催する地方自治体の財政の健全化に役立てられるだけでなく、自転車・小型自動車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化並びに体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与する形で社会に還元されます。

JKAは、自転車競技法第23条の規定に基づき、全国を通じて唯一の競輪振興法人としての指定を受け、2007年(平成19年)10月より、同法に定める「競輪関係業務」を行うとともに、同法38条の規定に基づき、競技実施法人の指定を受け、2014年(平成26年)4月より、同法に定める「競技実施業務」も行っています。

また、小型自動車競技法第27条の規定に基づき、全国を通じて唯一の小型自動車競走振興法人としての指定を受け、2008年(平成20年)4月より、同法に定める「小型自動車競走関係業務」を行っています。

主な業務内容は、競輪・オートレースの選手・審判員や、自転車・小型自動車の登録、競輪とオートレースの実施方法の制定、選手の出場あっせん、養成・訓練を行うほか、自転車・小型自動車その他の機械に関する事業の振興、体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に対する補助を行っています。また、競輪情報システムの研究開発、運用管理等の業務を行うほか、競輪を実施している競輪施行者からの委託を受けて、競輪に出場する選手及び競輪に使用する自転車の競走前の検査、競輪審判その他の競輪競技に関する業務、車券発売等の業務、開催宣伝の業務、場内整理等の業務及び競輪事業附帯業務を行っています。

4

プロフィール

設立 2007年(平成19年)8月23日

職員数 630名(2022年4月1日現在)

事業内容

■補助関係

- (1) 自転車、小型自動車その他の機械に関する振興事業への補助
- (2) 体育・医療・文教その他公益の増進を目的とする事業への補助

■競輪関係

- (1) 選手・審判員・自転車の登録、検車員の認定
- (2) 競輪の実施方法の制定
- (3) 選手の育成・訓練・出場あっせん
- (4) 競輪に関する広報宣伝、調査、企画等
- (5) 競輪に出場する選手及び競輪に使用する自転車の競走前の検査、競輪審判等の競輪競技運営業務
- (6) 車券発売等の業務、開催宣伝の業務等の競輪開催業務
- (7) 競輪情報システムの研究開発
- (8) 競輪情報システムの運用管理

■オートレース関係

- (1) 選手・審判員・競走車の登録
- (2) オートレースの実施方法の制定
- (3) 選手の育成・訓練・出場あっせん
- (4) オートレースに関する広報宣伝、調査、企画等

■その他

- (1) 自転車競技スポーツの競技者の養成及び愛好家層の拡大
- (2) 自転車競技スポーツの普及及び振興

事務所

- ・本部 東京都港区
- ・東エリア 東京都港区
- ・中エリア 愛知県名古屋市、大阪府大阪市
- ・西エリア 香川県高松市、福岡県筑紫野市
- ・伊豆事業所 静岡県伊豆市
- ・筑波事業所 茨城県下妻市

JKAの経営理念

JKAは競輪・オートレースの持続的発展を通じて社会へ貢献していくことを目的に2つの経営理念である、「お客様のための競輪・オートレース」「地域・社会を支えるための競輪・オートレース」に基づいて業務を行っております。



「お客様のための競輪・オートレース」とは、すべてのお客様にご満足いただけるレースをお届けするために、積極的に競輪・オートレースの魅力度向上に取り組んでいくということです。

また「地域・社会を支えるための競輪・オートレース」とは、競輪・オートレースのお客様からの大切な売上金の一部で、地域の課題、社会的課題の解決に取組む活動を支援していくことを表しています。

JKAはお客様のため、そして社会のためという精神を忘れず、競輪・オートレースの持続的発展を通じ、社会へ貢献していく団体を目指しています。

JKAの使命

JKAには二つの大きな使命があります。

一つは競輪・オートレースによって売り上げたお金を社会に還元していくことです。

競輪・オートレースはいずれもギャンブルであり、法令により、その収益を公共の目的に使用し、社会に還元していくことが義務付けられています。

JKAではこれらの社会還元事業(補助事業)を行い、様々な社会的課題の解決に貢献してきました。

近年の社会的課題の一例としては、東京オリンピック・パラリンピック開催による国民のスポーツへの意識の高まり及びスポーツ界が抱える諸問題への対応等があります。また、相次ぐ災害への復興支援も重要な取り組みの一つに挙げられます。



もう一つは競輪・オートレースの競技運営における弊害を除去し、公正安全な運営を確保することです。

競輪・オートレースは、公営競技(ギャンブル)であるため、そのレースにはお客様のたくさんのお金が賭けられています。したがって、他のスポーツよりも公正かつ安全な競技実施が求められますので、お客様の期待を裏切らないように、細心の注意を払いながらレース運営を行っております。

JKAの2つの業務

JKAには大きく分けて2つの業務があります。

それが「競輪の競技実施業務」と「競輪・オートレースの振興業務」です。

「競輪の競技実施業務」は競輪の開催運営に関わる業務で、検車、番組編成、選手管理、審判の4つの業務で成り立っています。

もう一つが「競輪・オートレースの振興業務」です。競輪・オートレース開催の売上分析や、広報宣伝、選手の出場あっせん、競輪選手養成所及びオートレース選手養成所での選手養成など、競輪・オートレースに関わるあらゆる業務を行っています。

これらの業務は全て、お客様に競輪・オートレースを楽しんでいただくこと、競輪を公正かつ安全に開催することに結びついています。

競輪競技実施業務

検車



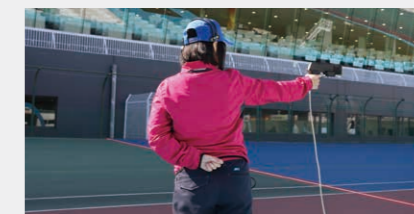
番組編成



選手管理



審判



競輪・オートレース振興業務

選手あっせん

競技規則制定

補助事業

養成訓練

統計調査

選手登録

広報

システム運用

イベント企画



競輪の競技実施業務

競輪は、1948年(昭和23年)九州の小倉競輪場にて初めて行われました。最高速度が70kmにも達するハイスピードなレースのなかで、選手同士の駆け引きや、激しい競り合いなどのレース展開が、多くのお客様に愛される所以となっています。

お客様に愛し続けていただくために、JKAは検車、番組編成、選手管理、審判の4つの業務を中心に公正安全な競輪の運営を行っています。

JKAの職員は、競走が公正安全に行われるのに必要な知識と経験を身に付けたプロフェッショナル集団なのです。

検車

競輪開催に参加する選手の自転車を検査します。選手の自転車に不備や故障の原因があれば、レース中に思わぬ重大事故に繋がる危険がありますので入念な検査を行います。

【開催前日】

参加選手の自転車の検査を行い、翌日以降のレースに備えます。

- 専用機械による自転車の検査
- 自らの手による自転車の検査
- 目視による自転車の検査

【開催当日】

開催当日もレース前後に自転車の検査や整備を行い、万全を期します。

- 朝の一斉点検
- レース直前の検査
- レース中の事故等により破損した自転車の分解、整備、組立(タイヤの貼り付け作業等)
- 翌日の番組、車番(枠番)決定後の出走選手の自転車の格納



番組編成

競輪開催におけるレースごとの対戦選手の組み合わせ(番組)を決定します。

各選手の能力やお客様の嗜好、レース展開等を日々研究し、興味溢れる対戦カードを提供することにより、お客様の購買意欲を刺激し、その開催の売上向上にも繋げることができます。

【開催前日】

- レースごとの対戦選手の組み合わせ(番組)を決定
- 車番(枠番)の決定
- マスコミへの番組発表

【開催当日】

- 各レース終了後、審判員が決定した着順をもとに、翌日以降の上位レースに勝ち上がる選手、下位レースに出走する選手を確認
- 車番(枠番)の決定
- 同格レースの中での対戦選手の組み合わせ(番組)を決定
- レース中の事故等により、翌日以降のレースを欠場する選手が発生した場合は、代わりの選手を招集
- マスコミへの番組発表



選手管理

選手管理では、競輪開催が公正安全に運営されるための様々な業務を行います。参加選手の受付や招集、健康状態の検査や出場資格の確認。選手が最大限のパフォーマンスを発揮できるような環境整備や、不正等を排除するための適切な保護管理、有事の際の選手との連絡調整等、その仕事は多岐にわたります。

【開催前日】

- 参加選手の受付、出場資格の確認
- 参加選手の身体検査の立ち合い
- 参加選手の練習管理
- 参加選手に対する開催中における注意事項等の説明
- 通信機器(携帯、スマホ、ゲーム機等)の預かり(契約解除まで)
- 出場選手の確定

【開催当日】

- 選手宿舎での参加選手の管理
- 参加選手の練習の管理
- 出走選手の招集
- 負傷選手への対応等(病院搬送、入院手続き等)



審判

レースが安全に行われるための走路や各種機材の管理を始めとして、レースの厳正確実な運行や安全確保、違反行為の審査、失格審議等を行い、最終的に着順を判定し、勝者の決定を行います。限られた時間の中で判断し、決定を下さなければならず、その決定が勝敗のゆくえ、ひいてはお客様の車券(投票券)の結果を左右する非常に重要な業務です。

【開催前日】

- 各種審判機材の確認(発走機、周回告知板、打鐘、審判放送機材等)
- 走路の点検

【開催当日】

- 各種審判機材の確認(発走機、周回告知板、打鐘、審判放送機材等)
- 走路の点検
- レースの発走、レースの監視、転倒した選手の救護、違反行為の審議、着順判定と勝者の決定、決定放送、審判成績表作成等



競輪・オートレースの振興業務

企画戦略部

企画戦略部は、主に「競輪・オートレースについて調査・分析、企画立案、各部署の総合調整」などを行っている部署です。

競輪・オートレースの売上を「開催のランキング」「開催の区分」「発売チャンネル」等の観点から分析し、お客様に、よりレースを楽しんでいただくための、新たな施策の提案や、施策提案のための資料作成なども行っています。

日々勉強の毎日ですが、競輪・オートレースについては勿論のこと、社会・経済・公営競技の状況・プレゼン方法等の幅広い知識やスキルを学べる部署で、回を重ねるごとに分析がうまくいったり、分析結果や作成した資料が施策に反映されたりするなど、どの仕事も達成感があります。



競輪振興業務部 あっせん課

あっせん課では、開催に選手を振り分ける(=あっせん)業務を行っています。具体的には、どの開催にどの選手をあっせんし、どの選手と対戦させるかを考え、お客様がより楽しんでいただける開催やレースを作り上げることを目指して業務を行っています。

あっせん業務は、自分のあっせんした選手が新聞各紙やインターネット上に掲載される為、自分の仕事内容が多くの人の目に触れる業務です。また、どのような選手をあっせんするかで開催の売上が大きく左右されます。自分の仕事内容がそのまま世間に発信され、直接売上に関与する責任ある仕事ですが、売上が好調であったり、良いレースだったとお客様から感想をいただくと大きな喜びを感じることもできるやりがいのある仕事です。



自転車競技振興室

2016年(平成28年)4月、「世界で戦える競輪選手を作る」ことを主目的として、JKAは、東京2020オリンピックの自転車競技(トラック)の開催地である静岡県伊豆市に、新たなセクションである「自転車競技振興室」を立ち上げました。自転車競技振興室では、海外からコーチを招聘し、日本自転車競技連盟(JCF)と連携しながら、最先端のコーチングプログラム構築や、世界で戦う競輪選手の強化及びトレーニング環境の改善に取り組んでいます。

その他にも、オリンピック、世界選手権メダリストをはじめとした海外トップ選手を日本に招致し、競輪に参加してもらうためのスカウティングや競輪をはじめ、トラック競技における活動や外国人選手に関する最新情報を掲載する自転車競技情報サイト「More CADENCE」を運用しています。



※左写真：東京2020オリンピック、右写真：More CADENCEイベント

広報部 広報宣伝課

広報宣伝課では、競輪・オートレースファンの裾野を広げるべく、WEB・テレビ・新聞などあらゆるメディア媒体を活用した宣伝事業の企画立案、業務進行管理を実施しています。また、ニュースからバラエティまでメディアから映像提供依頼があった際に、迅速に提供できるように、レース映像の収集・管理といった業務も実施しています。

競輪・オートレースを知らない人へ、その魅力をダイレクトに伝えるために、CMの制作やイベントの企画・運営など、外部の方と一緒に仕事を進めることが多く、様々な見聞を広めることが貴重な経験になります。また、外部の方にはJKAの代表として関わっていく場面も多く、そうしたことにやりがいを感じます。



競輪・オートレースの振興業務

競輪情報システム部 システム運用課

システム運用課では、車券を発売するために必要な情報の提供、お客様にご購入いただいた車券の集計及び払戻金の計算、レース結果等の情報蓄積管理を行うために構築した「競輪情報システム」の運用管理を中心に、運用管理者に対する研修、競輪情報システムの運用に係る仕様の検討等の業務を行っています。

競輪情報システムは、24時間365日稼働しており、これを運用管理する中で、さまざまなシステムトラブルや問い合わせがあります。それらに対処するために大事なことは、チームワークです。複雑なシステムに関することから、みんなで連携して取り組み、着実に対策を進めていきます。そして、課題が解消され、チームの一員として少しでも役に立てたと思えるときにやりがいを感じます。



日本競輪選手養成所 / オートレース選手養成所

心身ともに健やかなプロフェッショナルアスリートに必要な技能・知識を身に付けさせ、立派な社会人として必要な人格と良識をもった選手を養成しております。

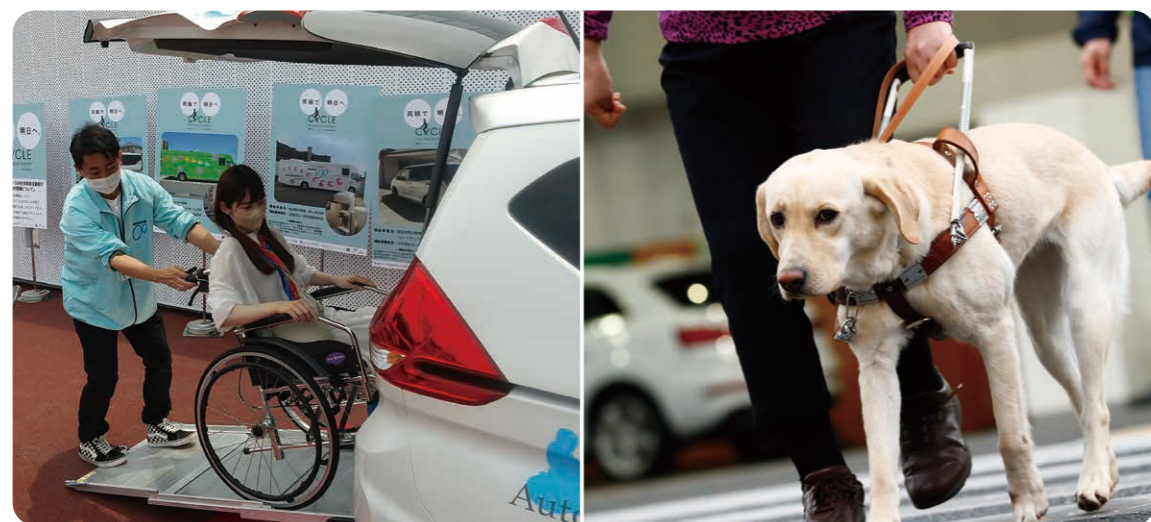
選手養成期間中は、競輪・オートレース選手になる為に必要な知識を候補生に対して指導します。立派な選手に育てるため厳しく接することは時に大変ですが、候補生の成長を見届けることができるのは、やりがいに感じます。また、同じ釜の飯を食べた者同士、絆は強く、選手として送り出した時の達成感とは他では味わえない魅力的な仕事です。



補助事業部 補助事業課

補助事業課では、競輪とオートレースの売上の一部を用いて、機械振興事業(ものづくり支援、地域の機械産業の振興、若手研究者への支援等)と、公益振興事業(スポーツ大会の開催、福祉施設の整備や活動支援、非常災害の援助等)の補助事業を行っています。

補助事業として採択された事業の担当者は、補助金の支払審査等を行います。適切に事業が行われたか等の確認を行い、厳正に審査を実施します。補助事業の事業分野は多岐にわたるため、審査等に対応できるよう日頃から社会情勢に敏感にアンテナを張り、情報収集や知識習得に努めることが必要ですが、担当事業が無事に完了すると社会課題に貢献できた実感があります。

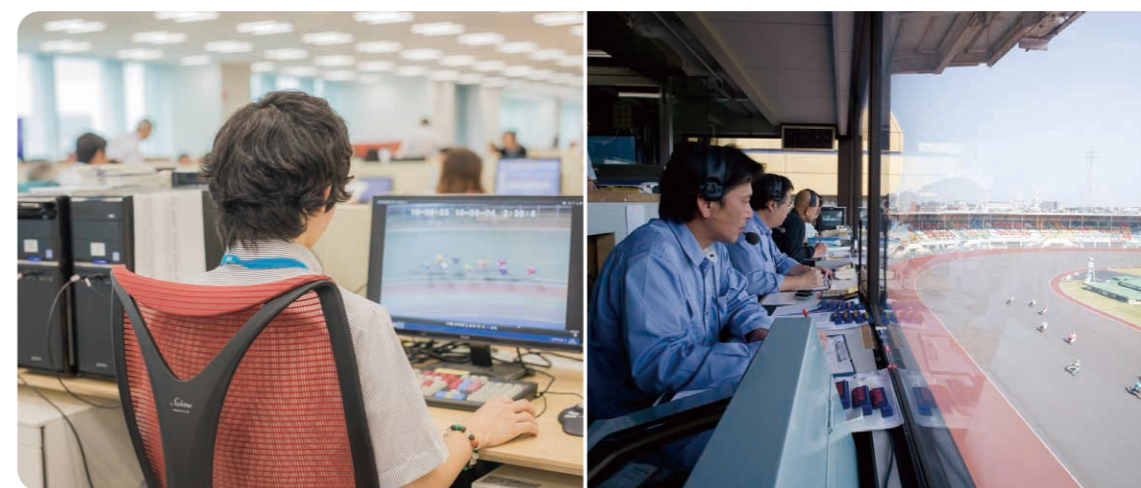


競輪振興業務部 業務課 / オートレース振興業務部

競輪振興業務部・業務課は、本部にあって競輪の開催現場に最も近い部署として、競輪の競技実施業務(検車、番組編成、選手管理、審判)に関する実施方法やルール作り等を行う部署です。

競輪場での競技実施業務を公正安全に行い、お客様の信頼を確保するため、諸規則やルールの制定及び改正、競技実施業務の実施方法の策定及び改善、職員に対する訓練研修、競輪に使用する自転車の種類及び規格の登録、自転車の部品の認定及び制度の改善・研究等を実施しております。

またオートレース振興業務部では、オートレース競走を公正安全に実施するための諸規則やルールの制定、審判の実施方法や競走車の検査方法等の策定及び改善、オートレース審判員等に対する訓練、オートレース選手及び審判員の検定、登録及び訓練、競走車の検査及び登録、オートレース選手の出場あっせん等の業務を実施しています。



JKAの挑戦



250ケイリン

オリンピックや自転車トラック競技の国際大会で行われているケイリンを、公営競技の250ケイリンとして2021年(令和3年)10月から新たに開催しています。

250ケイリンは屋内トラックで実施し、照明や音響を効果的に使用することで会場全体を盛り上げる演出を行っています。

©Takenori WAKO

※写真はイメージです。

250 Keirin

ガールズケイリン

ガールズケイリンとは、女性の競輪選手が国際ルールに準じた方法で行うケイリンです。

カラフルな自転車・ユニフォームが使用され、見た目の華やかさやエンターテインメント性の高さが特徴です。2022年(令和4年)7月1日、ガールズケイリンは10周年を迎えました。



Girls Keirin

ミッドナイトレース

ミッドナイト競輪・ミッドナイトオートレースとは、ミッドナイト時間(概ね20時～23時半)に開催される競走です。深夜の開催ということもあり、無観客の会場で行われます。

インターネット環境があれば、場所を選ばず楽しめるので、特に若いお客様から支持を得ている競走です。

Midnight Race

研修教育について

JKAでは、内定後、また入社後に様々な研修を行っています。

※年度によって内容が変わることがありますが、2022年度(令和4年)の新卒研修を中心に、その一部をご紹介します。

※感染症対策のため一部をWEB開催で行っています。

10月	内定式	
11月	品川本部 入社前研修①	
12月	競輪場にて現場研修を実施 入社前研修② →競輪場での執務を見学いたします。 審判室や検車室の見学など、普段はできない貴重な経験をすることができます。	
2月	品川本部 入社前研修③	
3月	品川本部 入社前研修④	
4月	入社式 公営競技見学	
4月 5月	品川本部研修 →競輪やオートレースの基本的知識やJKAの業務について座学にて研修を行います。 競輪やオートレースに関する知識のない方でもJKAで働くうえで必要な知識を身に付けることができます。	
4月 5月	日本競輪選手養成所 →日本競輪選手養成所では審判員、検車員の資格取得に向けた勉強を行います。 泊まり込みで研修を行いますので、同期との絆を深めることができます。	
6月 5	OJT研修 →本部の様々な部署に仮配属され、本配属までの数か月間その部署で仕事をします。 社会人としてのスキルや業務を行う上での知識などを身に付けることができます。	

入社前研修では、学生と社会人の違いや、JKA職員としてお客様から見られる立場になること、「公正安全」な業務の実施が求められることについて考えます。また、地方の競輪場に行く機会があるので、その土地ならではの雰囲気を感じることができます。

※入社前研修については、学業優先です。無理のない範囲で参加することができます。

入社後研修では、様々な場所へ見学に行けるだけでなく、品川本部で競輪やオートレースに関する知識を学ぶことができるので、競輪やオートレースに関する知識のない方でも、JKAで働くうえで必要な知識を身に付けることができます。

競輪・オートレースを支えるプロフェッショナル達

お客様に魅力ある レースを提供

競輪業務部あっせん課：係員
2019年入社

南田 将太
Minamida Shota

私の仕事を支えているもの

担当級班の選手の出場あっせん及び出場予定選手の欠場に伴う追加あっせん対応、先頭誘導選手の確保等を行っています。欠場選手の連絡対応やその他のあっせん調整も日本競輪選手会の担当者として行っています。お客様に魅力のあるレースを提供できるよう、バランスの良いあっせんを開催場全てに行うことができるように心がけています。

JKAを選んだ理由：

「競輪に直接関わる仕事に」

学生時代の競輪場でのアルバイトをしていたことをきっかけに、競輪に直接関わる仕事に就きたかったため、入社しようと決意しました。また、アルバイト時代に職員の方々から仕事面だけでなく福利厚生が充実していることも教えていただきました。そこも含めてJKAで働きたいと思うようになりました。

仕事について：

「限られた時間の中で選手バランスを考える」

あっせん作業は限られた時間(1カ月)の中で選手のバランス等様々なことに配慮しなければならない大変な作業です。また、全ての開催の選手バランスを考える必要がありとても難しいです。入社前は競輪場でアルバイトをしていたこともあり、競輪場で働く姿をイメージしていました。現在は事務所配属ですが、あっせん作業は競輪開催と密接に関わっているため、現場以外でも競輪と関わることができています。自分のあっせんした選手が実際にレースで走っているのを観戦することは今までにない経験であり、責任を強く感じます。ただそれと同じだけ嬉しくもあり、業務にとってもやりがいを感じています。

JKAの好きなおとこ

競輪に関わる仕事ができることです。競輪は公営競技であり、他の企業にはない専門的な業務が多く、いろいろな経験ができます。また、全国転勤があり、私は様々な土地で生活してみたいのでメリットを感じています。先輩職員の方々に相談しやすい環境であることも働きやすさの大きな魅力です。また、休日もしっかり取れるので仕事と私生活を混同することなく、働くことができます。

自転車に仕事にすること：

「選手の自転車を扱えることが他にはない魅力」

私の場合、自転車に興味があったわけではありません。自転車に携わる企業としてでなく、競輪に携わる企業としてJKAを選択しました。競輪場では実際に選手の自転車を扱うこともあるのですが、自分が検査した自転車がレースで使用されることを考えると、そのような経験は他の企業にはない魅力だと思います。

これからのこと：

「どこの部署でも活躍できる人材に」

まずは、現在の部署で今以上に業務を処理することができるように取り組んでいきたいと思っています。また今後さまざまな部署で仕事をすることになると思いますが、その部署ごとでしっかりと活躍していきたいと思っています。私は将来的には競輪場で業務を行いたいと思っていますが、どこでも活躍できる人材になれるよう、真摯に仕事に向き合っていきたいと考えています。

一日の流れ

- 9:30 出社・欠場選手の確認、メールの確認
補充選手の確認、概定番組の取り込み(当番時)
- 9:45 あっせん作業・欠場連絡対応・追加あっせん対応
- 12:00 昼休憩
- 13:00 あっせん作業・欠場連絡対応・追加あっせん対応
- 16:30 直近開催の欠場が埋まっているか確認
- 17:30 退社

私のリフレッシュ

休日は、自宅で映画などを見てゆっくり過ごす日もありますが、友人や、会社の先輩方と遊びに行くことが多いです。地方出身なので、東京でしか経験できない場所へ積極的に足を運ぶようにしています。出勤時の昼休憩は先輩方と一緒に食事をして業務開始まで、雑談をしています。また地元の友人たちと電話で他愛もない話をしてリフレッシュしています。

競輪・オートレースを支えるプロフェッショナル達

学ぶことと成長に 終わりはない

東エリア：審判
2020年入社

柴田 彩加
Shibata Sayaka

私の仕事を支えているもの

主に審判放送・周回員を担当しています。競輪開催中の限られた時間の中で確認事項を不足無く行い、常に緊張感を持ち審判業務にあたることで、公正安全な競走を行うことを心掛けています。

JKAを選んだ理由：

「競輪を通じて社会貢献を」

JKAの事業の一つである、医療や福祉などの補助事業に興味を持ったことがきっかけです。競輪やオートレースの売上金の一部が、社会貢献性の高い事業に活かされているところに魅力を感じました。また、就職活動をする中で実際に競輪を見たり、競輪場に足を運んだりしたことで、競輪にも興味を持つようになり、入社を決めました。

入社前の印象と、入社後の実感：

「家族のようなアットホームな環境」

入社前は、少し堅そうなイメージを持っていました。レース中の業務には緊張感もありますが、業務外ではアットホームな雰囲気の中で雑談をしたり、上司とのコミュニケーションも取りやすい環境という印象です。福利厚生もしっかりしているので、とても働きやすい会社だと思います。

JKAの好きなおとこ

活気があり、風通しが良く和やかな雰囲気の職場です。競輪の魅力がたくさんの人に知ってもらえるように、全職員が日々の業務に取り組んでいます。

仕事について(やりがい)：

「毎日の学びを大切に」

自分が担当する競輪場の開催業務ではいつ何が起こるか分からないので、アクシデントに備えて勉強の毎日です。そうした日々の中では反省することもあります。業務を通じて学び・吸収することも沢山あるので、達成感ややりがいをとても感じます。自分自身で考え取り組んだことが上手くいったり、業務に対して上司からお褒めの言葉をもらえたときはとても嬉しいです。

仕事の厳しさ：

「沈着冷静に的確な対応を」

競輪は公営競技の中で唯一、人間の力だけで競走を行っています。競走中には事故が起こることもあるので、そうした際に、限られた時間の中で効率よく対処しなければならないことが大変です。事故が起こった時はどうしても焦ってしまいがちですが、そういう時こそ沈着冷静に仕事に取り組むことを意識しています。

一日の流れ

- 9:30 出社・始業、開催に使う書類の確認、連絡事項の伝達等
- 10:00 バンクの清掃や、機材に不備が無いか、不足なく開催の準備が出来ているか確認する
- 11:00 1レース発走、レースの判定や違反を決める
- 12:00 休憩・昼食、毎レースの合間でタイミングを見ながら、各自で休憩や昼食を取る
- 17:30 終業

私のリフレッシュ

休日は、カフェで友達とお喋りしたり、旅行をしたり、自分の好きなことをしてのんびり過ごしています。出勤時は、レースの合間の時間にランチタイムを取っています。ランチタイムや休憩時には上司や同僚と雑談等をしてリフレッシュしています。



競輪・オートレースを支えるプロフェッショナル達

トップアスリートを輩出する

日本競輪選手養成所：養成課
2019年入社

遠藤 拓
Endo Takumi



競輪・オートレースを支えるプロフェッショナル達

人の心を動かせる刺激的な仕事

オートレース事業部：事業推進課
2017年入社

落合 直人
Ochiai Naoto

私の仕事を支えているもの

候補生のジムトレーニングの指導とスポーツ医学における解剖生理学の学科講義を主に担当しているほか、自転車の実科訓練の指導も行っています。我々指導者は、教わる立場の候補生よりも常に学んでいかなければならないと感じています。

JKAを選んだ理由：

「自分が学んだことを生かしたい」

学生時代、自転車競技は未経験でしたが、アスリートをサポートするトレーナーとしての知識や技術を専門的に学んできましたし、スポーツにも積極的に取り組んでいました。将来的には自身が学んだことを生かした職業に就きたいと考えていた時に就職活動でJKAと出会い、応募しました。

養成所での仕事について

選手養成所と言えば、苦しい訓練をひたすらがむしゃらにこなし、生活においてもほとんど私語が許されないような堅く厳しい環境というイメージを持っていましたが、実際はそうではありませんでした。科学的なトレーニングを積極的に推進していますし、生活面においては、やや厳しい規則等ではありますが、活き活きと過ごす候補生の姿にこちらも元気をもらっています。

JKAの好きなおとこ

自転車競技の経験が無く、競輪の事を何も知らなくても、一から学ぶことができ、実際に現場にも立てるところに魅力を感じます。

自転車を仕事にすること

メーカーやメカニックなど、自転車に関わる仕事は多々ありますが、直接的に競輪に関わる仕事というのは、やはりJKAならではの魅力があると思います。公営競技の中でも唯一一人で行う競輪は、他にはない大きな魅力があります。選手や自転車と触れ合い、自らが競輪を運営する一助となれる楽しさというのは、他の企業では味わえないものではないでしょうか。

これからのこと

まずはベテラン教官の先輩方から訓練指導その他の知識や技術を教わり、一人前の教官として確実に業務を行えるように精進します。養成所教官としての採用なので難しいかもしれませんが、可能であれば現場の審判員や検車員として業務を行う経験も、候補生の指導に活かせることが多くあると思うので執務してみたいです。

一日の流れ

- 8:55 入社、学科講義や訓練の準備、候補生の対応
- 9:00 始業・朝礼
- 9:05 1~3限目 ジムトレーニング指導
- 11:25 昼食
- 12:25 訓練担当の教官と打ち合わせ
- 12:55 4~7限目 自転車実科訓練
- 16:15 8限目 訓練機材の整理
- 17:00 事務作業・終業

私のリフレッシュ

休日は気分転換にドライブに出かけたり、カメラが好きなので風景などを撮りに出かけたりしています。自宅にいるときは映画を見たり学科授業の資料を作ったりなどもしています。

私の仕事を支えているもの

オートレースオフィシャルホームページ、競技情報サイト、専用場外売場向けwebオッズシステム、タブレットデータシステム等、オートレースのWEBシステムに関する開発・運用・管理業務を行っています。インターネットを利用してオートレースを観戦していただく全てのお客様に、より楽しんでもらうシステムを作る仕事ですね。また、ポイントプログラムサービスの運営・サービス企画を手掛けるなど、オートレース活性化のためのプロジェクトも進行中です。

JKAを選んだ理由：

「何よりオートレースが大好き」

JKAを選んだ理由は、大好きなオートレースに携われるということです。また、ギャンブルレジャーは仕掛け次第でお客様の購買動向やファンエンゲージメントを大きく変化させられる可能性を持っているということも、刺激的で魅力に感じています。

入社前の印象と、入社後の実感：

「部署を超えて意見交換が活発」

入社前は、お役所的なイメージを持っていて、縦割り組織で部署間の交流が少ないのではないかと感じていましたが、実際は皆が様々な業務を経験しており、活発に意見交換が行われていました。また、社外関係者や選手など人間関係が広い人が多い印象です。

JKAの好きなおとこ

オンとオフがはっきりしている会社だと思います。働く時は全力で働く、遊ぶ時は全力で遊ぶ。プロフェッショナルな集団だからこそ実行できていることであり、JKAの強みだと感じています。

仕事の厳しさ：

「いつもお客様の視点を忘れずに」

いつもたくさんのお客様にオートレースをご利用いただいておりますので、どんな業務でもお客様の視点を忘れないように心がけています。また、エンターテインメントとして、オートレースを更にイメージUPさせていく必要もあると思っています。

仕事のやりがい：

「心を熱くさせる仕事であること」

オートレースを通じてお客様の心を熱くさせられることです。喜びや安らぎを与える仕事は世の中にたくさん存在していると思いますが、ここまで人の心を動かせる仕事は少ないのではないのでしょうか。想いがあればそれを実現できる環境がJKAにはあると思います。

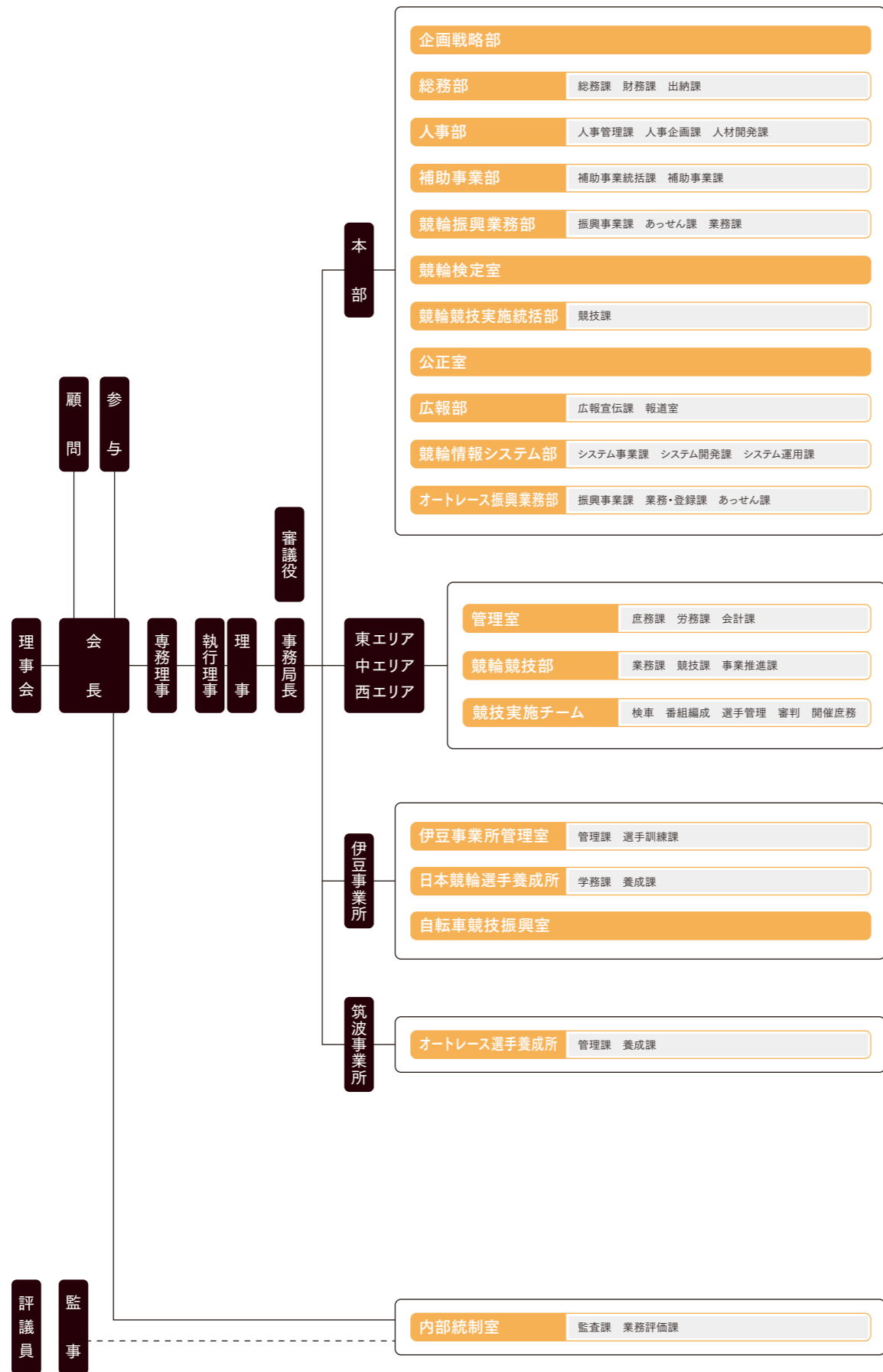
一日の流れ

- 9:15 入社・始業
- 9:30 連絡会で、部署ごとに連絡事項や行事予定を共有
- 10:00 メールチェック・タスク確認など
- 10:30 定常業務。支払関係やホームページ更新など
- 11:00 集計・分析。お客様の投票データを確認
- 12:00 昼休み
- 13:00 情報収集
- 13:15 キャンペーン案作成
- 15:00 web会議
- 16:30 システム設計
- 17:45 明日のタスク整理
- 18:00 終業

私のリフレッシュ

休日はサッカーなどのスポーツ観戦や旅行に行くことが多いです。日程が合えば競馬やオートレースなど、他の公営競技を観戦することも多いですね。楽しみながら、自分の仕事のヒントが得られることもあります。

組織系統図



組織と業務



全国競輪場・オートレース場一覧

※2022年6月1日現在

中国

- ① 玉野競輪場
岡山県玉野市築港5-18-1
- ② 広島競輪場
広島県広島市南区宇品海岸3-6-40
- ③ 防府競輪場
山口県防府市国分寺町8-2
- ④ 山陽オート
山口県山陽小野田市大字埴生字赤松 700

九州

- ⑤ 小倉競輪場
福岡県北九州市小倉北区三萩野3-1-1
- ⑥ 久留米競輪場
福岡県久留米市野中町2
- ⑦ 武雄競輪場
佐賀県武雄市武雄町大字武雄4439
- ⑧ 佐世保競輪場
長崎県佐世保市干尽町2-5
- ⑨ 別府競輪場
大分県別府市亀川東町1-36
- ⑩ 熊本競輪場
熊本県熊本市中央区水前寺 5-23-1
- ⑪ 飯塚オート
福岡県飯塚市鯉田 147

北日本

- ⑫ 函館競輪場
北海道函館市金堀町10-8
- ⑬ 青森競輪場
青森県青森市大字新城字平岡1-1
- ⑭ いわき平競輪場
福島県いわき市平谷川瀬字西作1

四国

- ⑮ 高松競輪場
香川県高松市福岡町1-4-46
- ⑯ 小松島競輪場
徳島県小松島市横須町5-57
- ⑰ 松山競輪場
愛媛県松山市市坪西町796-6
- ⑱ 高知競輪場
高知県高知市大原町45

関東

- ⑲ 弥彦競輪場
新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦2621
- ⑳ 前橋競輪場
群馬県前橋市岩神町1-2-1
- ㉑ 宇都宮競輪場
栃木県宇都宮市東戸祭1-2-7
- ㉒ 取手競輪場
茨城県取手市白山6-2-8
- ㉓ 大宮競輪場
埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4大宮公園内

- ㉔ 西武園競輪場
埼玉県所沢市荒幡1215
- ㉕ 立川競輪場
東京都立川市曙町3-32-5
- ㉖ 京王閣競輪場
東京都調布市多摩川14-31-1
- ㉗ 川口オート
埼玉県川口市青木 5-21-1
- ㉘ 伊勢崎オート
群馬県伊勢崎市宮子町 3074

近畿

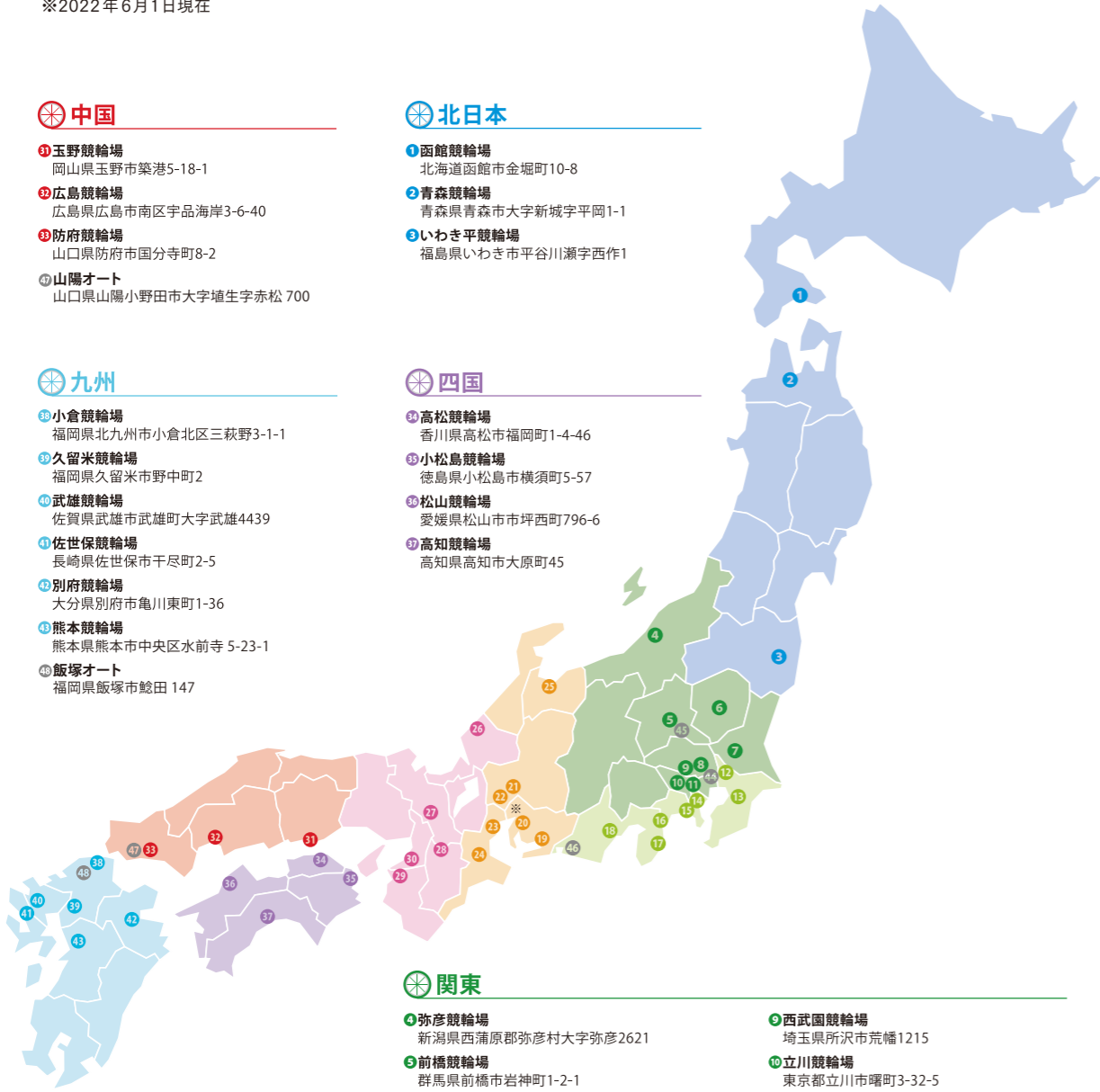
- ㉙ 福井競輪場
福井県福井市明里町2-65
- ㉚ 京都向日町競輪場
京都府向日市寺戸町西の段5
- ㉛ 奈良競輪場
奈良県奈良市秋篠町98
- ㉜ 和歌山競輪場
和歌山県和歌山市五筋目 10-1
- ㉝ 岸和田競輪場
大阪府岸和田市春木若松町22-38

中部

- ㉞ 豊橋競輪場
愛知県豊橋市東田町87
- ㉟ 名古屋競輪場
愛知県名古屋市中村区中村町字高畑68
- ㊱ 岐阜競輪場
岐阜県岐阜市東栄町5-16-1
- ㊲ 大垣競輪場
岐阜県大垣市早苗町1-1
- ㊳ 四日市競輪場
三重県四日市市大字羽津甲51163
- ㊴ 松阪競輪場
三重県松阪市春日町3-1
- ㊵ 富山競輪場
富山県富山市岩瀬池田町8-2

南関東

- ㊶ 松戸競輪場
千葉県松戸市上本郷594
- ㊷ 千葉競輪場
千葉県千葉市中央区弁天4-1-1
- ㊸ 川崎競輪場
神奈川県川崎市川崎区富士見2-1-6
- ㊹ 平塚競輪場
神奈川県平塚市久領堤5-1
- ㊺ 小田原競輪場
神奈川県小田原市城山4-10-1
- ㊻ 伊東温泉競輪場
静岡県伊東市岡1280
- ㊼ 静岡競輪場
静岡県静岡市駿河区小鹿2-9-1
- ㊽ 浜松オート
静岡県浜松市中央区合町 936-19



沿革



- 1948年（昭和23年）11月 自転車振興会連合会設立
第1回小倉競輪開催（競輪発祥）
- 1950年（昭和25年）9月 日本サイクリストセンター（NCC-後に日本競輪学校→日本競輪選手養成所と改称）落成
9月 社団法人全国小型自動車競走会連合会発足
10月 船橋オートレース場開設（全国初のオートレースを開催）
- 1957年（昭和32年）10月 日本自転車振興会発足
- 1962年（昭和37年）10月 日本小型自動車振興会発足
- 1967年（昭和42年）5月 財団法人日本オートスポーツセンター開設と同時にセンター内に日本小型自動車振興会選手養成所設立
- 1968年（昭和43年）7月 日本競輪学校（現・日本競輪選手養成所）が東京（調布）から伊豆修善寺に移転
- 1990年（平成2年）12月 日本初の室内競輪開催（グリーンドーム前橋）
- 1995年（平成7年）9月 車番制による車券発売の開始（立川・その後全国的に導入）
- 1996年（平成8年）7月 アトランタオリンピックで十文字貴信選手が銅メダル獲得（1,000mT.T）
12月 シドニーオリンピック（2000年）から「ケイリン」が正式種目として採用決定
- 1998年（平成10年）7月 初のナイト競輪開催（函館）
- 2000年（平成12年）8月 オリンピック正式種目として「ケイリン」実施（シドニー）
- 2007年（平成19年）8月 財団法人日本競輪財団発足
10月 財団法人日本自転車振興会に名称を変更 競輪振興会としての業務を開始
10月 日本自転車振興会解散
- 2008年（平成20年）4月 日本小型自動車振興会解散
財団法人JKAに名称を変更 小型自動車競走振興会としての業務を開始
- 2011年（平成23年）1月 初のミッドナイト競輪開催（小倉）
- 2012年（平成24年）7月 ガールズケイリン48年ぶり復活（平塚）
- 2013年（平成25年）4月 公益財団法人JKAに名称を変更
- 2014年（平成26年）4月 公益財団法人日本自転車競技会及び公益財団法人車両情報センターと合併 競技実施法人としての業務を開始
- 2019年（令和元年）5月 日本競輪学校（NKG）から日本競輪選手養成所（JIK）へ名称変更

公益財団法人JKA

〒108-8206 東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス 25階



公益財団法人 JKA WEB サイト

<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

JKA 採用情報 WEB サイト

<https://recruit.keirin-autorace.or.jp/>



アクセス：JR品川駅港南口 徒歩6分



競輪オフィシャルWEBサイト
<http://keirin.jp/>

オートレースオフィシャルWEBサイト
<https://autorace.jp/>

